

超高齢社会・現代日本の

シンポジウム

〈迷惑〉意識

老い・看取り・死を考える際に、多くの人々が『家族に迷惑をかけたくない』『子供に迷惑をかけたくない』という意識を抱いています。
こうした『迷惑をかけたくない』（〈迷惑〉意識）について、一緒に考えてみませんか。

日時 2022年9月19日(月・祝) 13:00~18:30

会場 岡山大学津島キャンパス 工学部5号館 15番講義室

※新型コロナウイルス感染拡大の状況により、
オンラインのみでの開催に変更する可能性があります。

オンライン
同時開催

事前
申込制



申込QR

プログラム	13:00 ~15:10	開会、趣旨説明 現代日本における 老いと〈迷惑〉意識	工藤洋子(東北福祉大学) 日本の〈迷惑〉意識に関する文献レビュー 山本栄美子(東京大学) 『恍惚の人』以降の「老い」・「介護」意識の変容—いつから 〈迷惑〉意識を持つようになったのか 吉葉恭行(岡山大学):介護技術開発と〈迷惑〉意識 〈コメント〉山本大介(大東文化大学) 小野真由美(ノートルダム清心女子大学)
	15:20 ~17:00	〈迷惑〉意識の 海外との比較	田中菜摘(岡山大学) 『おだやかな死』における〈迷惑〉の用例 日笠晴香(岡山大学) 〈迷惑〉意識と自律 —スピリチュアルペインとSPBの議論を手がかりに 鈴木亮三(岡山大学) 相互行為としての〈迷惑〉意識 〈コメント〉島田雄一郎(大島商船高等専門学校) 大塚美樹(島根県立大学)
	17:20 ~18:20	全体討論	

主催：科研費・基盤研究 A 「日本社会の「老い」をめぐる分野横断的研究—「迷惑」と「ジリツ」の観点から」(課題番号 20A00007)

共催：「人ならざるもの」の擬人化を通じた人間社会とデジタル技術との調和・共生に関する研究(東北大学「持続可能な社会の創造を目指す研究スタート支援事業」)

申込・問い合わせ先 **本村 昌文** ✉ tomtom@okayama-u.ac.jp

〒700-8530 岡山県岡山市北区津島中3-1-1 岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科日本文化論分野

科研費
KAKENHI

